### 福島県教育庁相双教育事務所学校教育課



〒975-0031

福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地 回路回

TEL:(0244)26-1314

FAX:(0244)26-1318

E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



# 避難地域12市町村における<br/> 少人数教育に対応した教授法に関する教員研修

○日 時:令和6年9月27日(金)10:05~16:10

○会 場:東日本大震災・原子力災害伝承館、双葉町産業交流センター

○参加者:小·中義務教育学校教員、市町村教育委員会指導主事等合計60名

○内 容: (1) 伝承館における施設見学等の研修プログラム

(2) ラウンドテーブル

①代表校発表 広野町立広野小学校、川俣町立山木屋中学校

②ラウンドテーブル「少人数教育における探究的な学びの在り方」について

(3) 講演「子どもの『主体的な学び』を支える-鍵を握る『聴く構え』-」

南砺市教育委員会教育長

富山大学名誉教授

松本 謙一 様

#### 【研修のまとめ】

#### 【伝承館における施設見学等の研修プログラム】

東日本大震災・原子力災害伝承館の見学をとおして、複合災害を知り、学ぶことができました。見学後はいわき震災伝承みらい館の語り部を講師に、複合災害の話を聞き、共感することができました。

#### 【ラウンドテーブル】

2つの学校から以下の内容について実践発表していただきました。

広野町立広野小学校:広野町の「ひと」「もの」「こと」を中心とした探究学習について

川俣町立山木屋中学校:地域に関する学習や東日本大震災における防災・復興学習等について

#### 【講演】

これまでの実践に基づいた力強い講演をしていただきました。「子どもの発言内容だけでなく、背景にある子どもの 思いを受け止めていますか?発言内容だけで、子どもの価値を決めていませんか?」(松本謙一様より)

## 研修の感想

- 震災のことを思い出すのは正直辛いこともあるが、目の前の子どもたちに伝えたり、一緒に学んだりしていくことが大切だと思った。
- その子が何を求めているのか、どうして言ったか考えてあげる、これが主体的な学びにつ ながっていくと学んだ。
- 少人数だからできることもあるので、チャンスだと思ってやっていきたい。





